

青森市立泉川小学校校舎等改築事業【設計段階】

1 事業計画

(1) 事業概要

<計画施設について>

既存の青森市立泉川小学校は、校舎が昭和 49、50 年度に、屋内運動場が昭和 51 年度に建設されたものである。令和 5 年度に実施した耐力度調査の結果、建物の構造耐力及び機能面において老朽化が進行していると評価された。

<整備方針>

児童及び教職員や地域住民が、安全で安心して学校を利用できるよう改築工事を実施することとし、地域のシンボルとなる施設の整備を目指すこととする。

<計画建物の概要（構造・規模）>

泉川小学校は、公立学校建物の校舎等の基準により計画し、下表の規模を想定している。規模は、文部科学省の基準により、学級数に応じた標準面積に、校舎は、それに特別支援学級と多目的スペース、放課後児童会の分を加算した面積となっている。屋内運動場は、防災倉庫の機能を含む面積となっている。

また、敷地北西側には、将来的に福祉館を整備するエリアを確保する。

	既存		⇒	設計	
	構造・階数	規模 (㎡)		構造・階数	規模 (㎡)
校舎	鉄筋コンクリート造 3 階建	5,156		鉄筋コンクリート造 3 階建	6,730(※)
屋内運動場	鉄骨造 2 階建	1,084		鉄筋コンクリート造 2 階建	1,347

※放課後児童会 531 ㎡含む

<整備スケジュール>

令和 7 年度に実施した校舎及び屋内運動場の改築基本設計を基に、令和 8 年度に校舎及び屋内運動場の改築実施設計を行い、令和 9～11 年度の 3 カ年で校舎及び屋内運動場の改築工事を実施する予定である。令和 12 年度以降のスケジュールは以下の予定である。

令和 12 年度 … 既存校舎及び屋内運動場解体工事
令和 13 年度 … 校庭整備（1 年目）
令和 14 年度 … 校庭整備（2 年目）

(2) 景観計画

<計画地周辺の状況>

計画地は青森市の中心部から南西に約 2.3km の位置にあり、周辺には金沢小学校や西中学校、青森南高等学校が存在しており、敷地周囲は南側に保育園、南西側には田んぼが広がる住宅地となっている。

また、敷地は南側の学校正門がある幅員約 10m の市道、東側の幅員約 6m の市道と幅員約 4m の通学路、西側の蓋有り水路（いわゆる万太郎堰）と市道部分を合わせて幅員約 9m の道路、北側の水路に囲まれている。

<青森市景観計画で定める景観方針（計画地がどのような位置付けか）>

市街地景観地域（住宅地域）になっており、身近な公園や緑地での植栽活動や敷地内緑化による緑花空間を形成し、街並みと調和のとれた「潤い・ゆとり」のある快適で心豊かな景観の形成に努める。

(3) 案内図



(4) 敷地概要

<地名地番>

青森市大字浪館字泉川 1 番地の 1

<敷地面積>

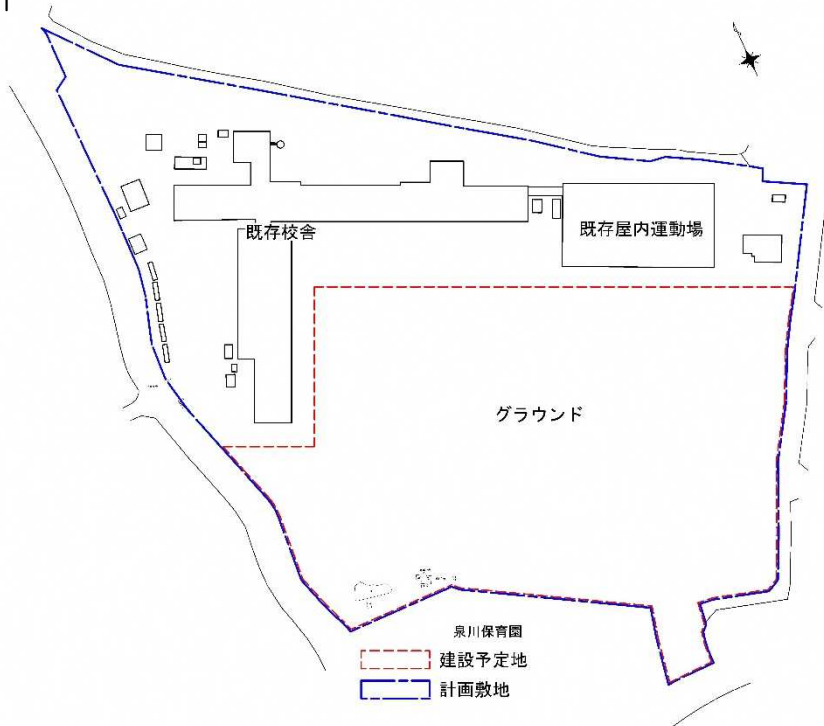
23,228㎡

<用途・防火地域等>

都市計画区域内
（市街化調整区域）
用途地域なし
防火地域指定なし

<建ぺい率・容積率>

建ぺい率： 70％
容 積 率：200％



(5) 計画条件

ア 校舎棟

・構造	鉄筋コンクリート造 3 階建		
・普通教室	24 教室 (普通教室 19 教室・特別支援教室 5 教室)		
・特別教室	11 教室	(※「普通×1.5」は、普通教室の 1.5 倍程度の面積を表す)	
	理科室	(普通×1.5)	1 (準備室併設)
	生活科室	(普通×1.5)	1 (準備室併設)
	音楽室	(普通×3.0)	1 (準備室併設、可動間仕切設置)
	図工室	(普通×1.5)	1 (準備室併設)
	家庭科室	(普通×1.5)	1 (準備室併設)
	視聴覚室	(普通×1.5)	1 (準備室併設)
	図書室	(普通×2.0)	1 (準備室併設)
	特別活動室	(普通×1.5)	2
	児童会室	(普通×0.5)	1
	教育相談室	(普通×0.5)	1
・管理関係諸室	18 室		
	校長室	(応接室兼用)	1
	職員室	(職員数 30 名)	1
	事務室	(職員数 1 名)	1
	保健室		1 (シャワールーム設置)
	放送室		1 (スタジオ設置)
	更衣室		2 (男女各 1)
	印刷室		1
	技能主事室	(職員数 2 名)	1
	配膳室		各階 1 (小荷物専用昇降機設置)
	会議室		1
	教材室		各階 1
	倉庫		2 (内 1)
	機械室		1
	電気室		1
	PTA 室		1
	ごみ集積スペース		1
	校内教育支援センター		1

・多目的スペース 668 m²程度
(ワークスペース)

・その他

- ①機械室・電気室について
- ・浸水想定区域であることを考慮し、2 階以上に設置する。
 - ・非常用発電機を設置する。
- ②中廊下について
- ・中廊下の場合は採光の検討をすること。

イ 放課後児童会

- ・諸室
- 教室：5
トイレ：男子、女子、バリアフリー
事務室、更衣室、給湯室、廊下、水飲み場兼手洗い場、
収納・倉庫、玄関（靴置場含む）、風除室、スロープ

ウ 屋内運動場

- ・構造
- 鉄筋コンクリート造 2 階建
- ・諸室
- アリーナ
ステージ
控室 1・2
用具庫
更衣室 2 (男女各 1)
便所 2 (男女各 1)
玄関
防災倉庫
放送室

エ グラウンド・外構関係

- ・外構
- 駐車場 40 台以上 + 児童会 10 台 + 来客・保護者 (10～15 台程度目標)
- ・トラック
- 200mトラック (既存：200mトラック)
- ・その他
- 校舎を配置した上で最大限可能な整備とする。
トラックの大きさ、直線コースの長さ、野球場のスペース等について検討する

オ その他

- ・バリアフリー法への対応
- ①玄関スロープ、階段及び全ての大便所への手摺設置
②車椅子対応多機能トイレを各階に 1 箇所設置
③エレベーターを設置
- ・設備について
- ①エアコンの設置について
- ・天井埋込型の冷暖房ルームエアコンを標準とする。
 - ・小部屋についてはパッケージ型エアコンとする。
 - ・屋内運動場は冷暖房エアコンとする。
- ②暖房について
- ・トイレは、パネルヒーターとする。

2 建築計画

(1) 設計方針

◇◇ 児童が心豊かに成長し、地域にとっても安全で安心な使いやすい学校をつくります ◇◇

① ゆとりある学びができる学校

学校は、学習にスポーツに児童が一年の大半を過ごす施設であるため、利用しやすく快適な空間づくりを目指します。

- 教室前をワークスペースとすることや、2つ特別活動室や音楽室の間に可動間仕切りを採用することで、連続したオープンスペースを設け、ゆとりある学習生活が送れるよう計画します。

② 安全で安心な使いやすい学校

新校舎・屋内運動場のほか、放課後児童会や将来の福祉館の建設エリアがあり、児童・教職員のほか、地域住民にとっても安全で安心な使いやすい施設とする必要があります。

- 図書室・視聴覚室に隣接したホール、校内教育支援センター、教室前のワークスペースなど、多種多様な学習形態に対応できるスペースを計画します。
- 洪水浸水想定区域内であることを踏まえ、地域の避難所となるアリーナを2階へ計画します。

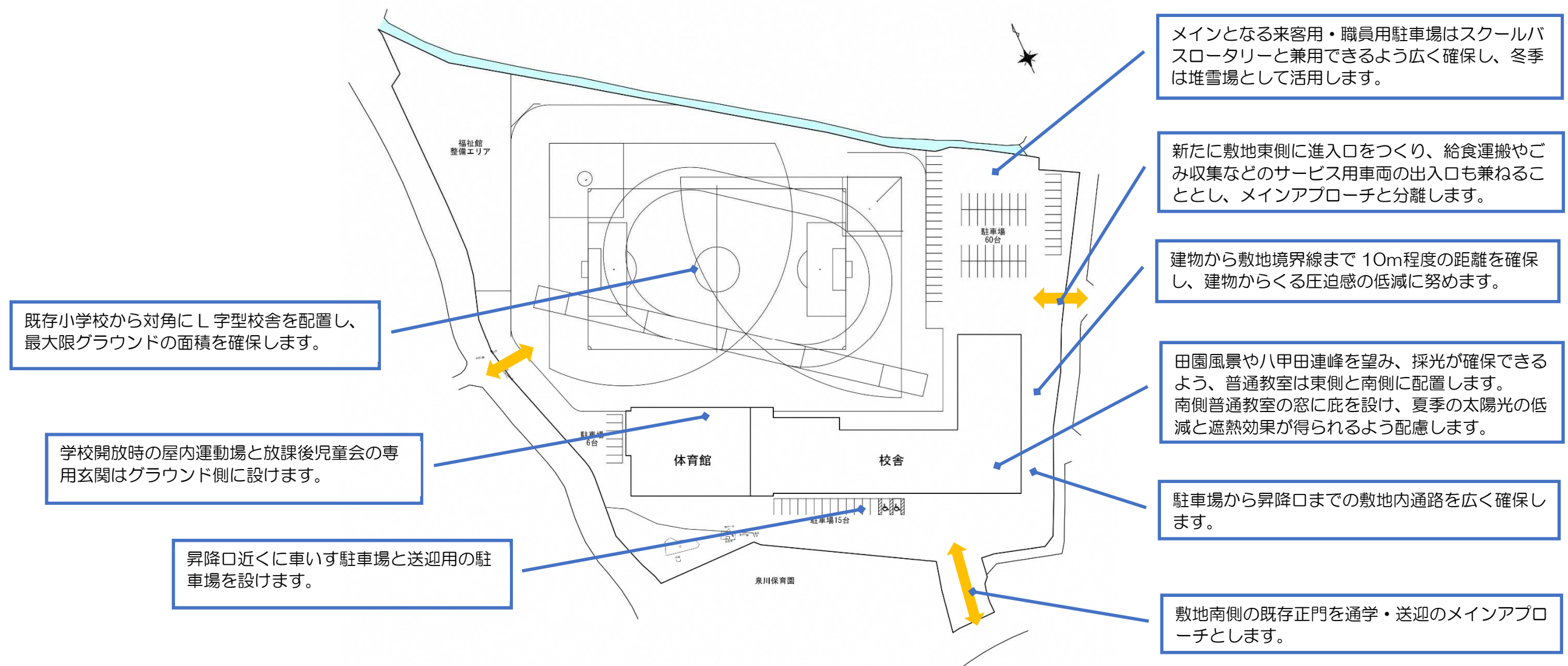
③ 交流がうまれる学校

幅広い交流が社会や豊かな人間性の育成につながるため、憩いの空間づくりを目指します。

- 学校の中心にある昇降口に隣接した図書室・視聴覚室やホールを設け、様々な学習活動や集会など学年を越えて児童どうしの交流が可能な集える場を計画します。
- 屋内運動場には専用玄関を設け、アリーナや特別教室の一般開放など、学校が休業中でも地域の住民が利用しやすくなるよう計画します。

(2) 配置計画

- ・コスト削減、整備期間の縮小のため、旧グラウンドの土地を利用し建て替えを行います。



(3) 面積概要

	校舎	屋内運動場	放課後児童会	計
1 階床面積	2,026 ㎡	155 ㎡	531 ㎡	2,712 ㎡
2階床面積	2,058 ㎡	1,134 ㎡	—	3,192 ㎡
3階床面積	1,994 ㎡	58 ㎡	—	2,052 ㎡
PH 階床面積	121 ㎡	—	—	121 ㎡
合計	6,199 ㎡	1,347 ㎡	531 ㎡	8,077 ㎡

(4) 動線計画

- ・昇降口を中心としたし字型配置で、普通教室エリアや特別教室エリアへの容易な移動を可能にします。
- ・中廊下形式の教室配置とし、見通しの良い計画とします。
- ・校舎棟と屋内運動場棟をつないで、行事などスムーズな行き来を可能にします。
- ・児童に人気の高い図書室を、学校の中心に配置します。
- ・管理ゾーンは、職員室と関連する諸室を集約させ、動線の短縮化を図ります。
- ・保健室は、グラウンドに近い配置とすることで緊急時の動線を短くしています。
- ・配膳室は、給食運搬車輛が積込運搬しやすく、1 階の特別支援教室や上階の普通教室からもアクセスしやすい位置に配置します。
- ・明確なエリア計画と見通しの良い廊下、階段を随所に設けることで、安全な避難計画を行います。

(5) 平面計画

- 放課後児童会ゾーン、屋内運動場ゾーン、教室ゾーン、特別支援教室ゾーン、職員室等の管理ゾーン、音楽室等の特別教室ゾーンをそれぞれエリア区分し、機能的かつコンパクトな配置とします。

a 1 階平面計画

- ◆ 校舎ゾーン（特別支援教室・特別教室・管理・昇降口・階段）
 - ・南側の既存正門に面して昇降口と事務室を配置し、また、グラウンドに面した見通しの良い位置に職員室を配置し、来校者や屋外の状況について確認しやすくしています。
 - ・昇降口に隣接して図書室・視聴覚室やホールを設け、児童が集まる交流の場とします。
 - ・特別支援教室は、保健室に近接した配置とすることで、安心した学習環境を確保できます。また、近くにバリアフリースイレを配置し、利便性に配慮します。
 - ・教育相談室は校内教育支援センターと並んで配置し、相互連携しやすいようにします。
 - ・トイレは適正個数用意するとともに、出入口の扉を設けず、可能な限り窓のある明るく清潔感のある空間とします。

- ◆ 屋内運動場ゾーン
 - ・計画地は、洪水浸水想定区域に位置しています。
 - ・1 階は専用の風除室・玄関を設け、2 階にアリーナを計画します。
 - ・避難所としての機能を持つため防災倉庫を設けます。

- ◆ 放課後児童会ゾーン
 - ・放課後児童会ゾーンには、専用の風除室・玄関を設けます。
 - ・収容児童数 172 人を想定しているため、40 人程度収容できる放課後児童会室を 5 室設けます。
 - ・感染症対策として水飲み場兼手洗い場を設け、各諸室には自然換気を行うことができるよう可能な限り窓を設置します。



1 階平面図

b 2、3階平面計画

◆校舎ゾーン

- ・2階及び3階は、普通教室と特別教室をメインに配置し、異学年の活動を肌で感じることができ、自然な交流を促す児童にとって中心的なフロアとします。
- ・普通教室を南側と東側に配置することで自然光を確保し、明るく清潔感のある環境とします。
- ・教室の前にはワークスペースを設け、多様な学習形態に対応できるよう配慮します。
- ・特別教室は屋内運動場側に集約配置します。
- ・音楽室・特別活動室は連続した2室とし、広く使用できるよう仕切りは可動間仕切りの採用を検討し、オープンスペースとしての活用を可能とします。
- ・各フロアに教具庫などを配置し、教職員が職員室へ往来する手間を減らします。
- ・2階、3階それぞれにバリアフリートイレを配置し、利便性を高めるよう計画します。
- ・トイレは適正個数用意するとともに、出入口の扉を設けず、可能な限り窓のある明るく清潔感のある空間とします。

◆屋内運動場ゾーン

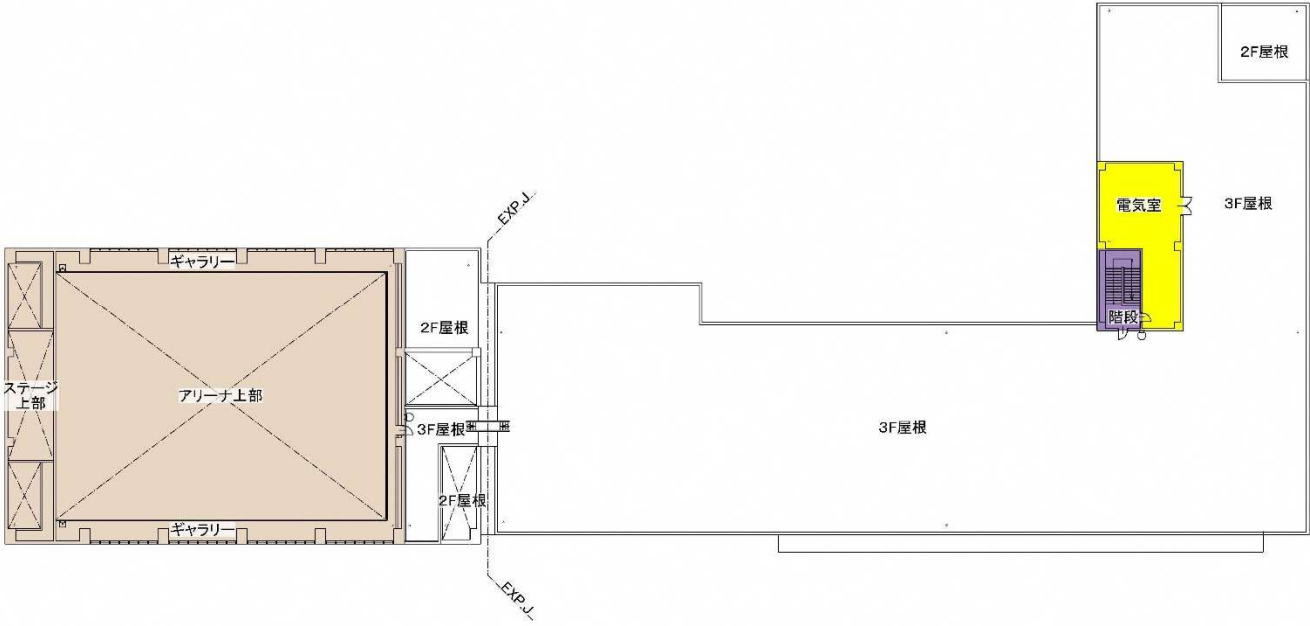
- ・洪水浸水想定区域内の避難所としての機能に配慮し、アリーナを2階とします。
- ・バスケットコートを2面設け、授業でも地域開放でも利用しやすい大きさとします。

c PH階平面計画

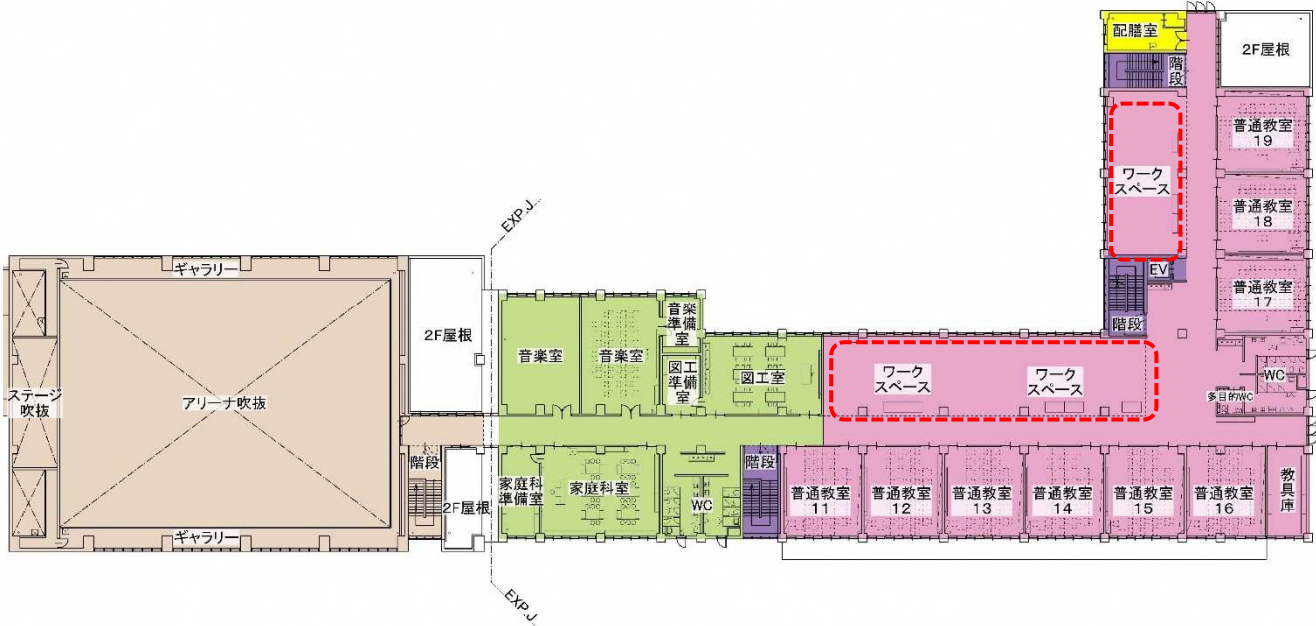
- ・PH階は電気室と機械室のみ配置し、通常、児童が立ち入ることのない計画とします。



2階平面図



PH 階平面図



3階平面図

（６）立面計画

- ・地域に寄り添うシンボリックなたたずまいとなるよう計画します。
- ・敷地東側に住宅地が広がることから、建物から敷地境界線まで 10m程度の距離を確保し、建物からくる圧迫感の低減に努めます。
- ・外装仕上材は積雪寒冷地であることに配慮し、耐久性・耐候性に富み、経済的でメンテナンス性に優れた材料を選択します。
- ・低層部分は磁器質タイル貼り、高層部分は吹付タイル仕上げとし、また、柱型と壁面で凹凸をつけるなど、異なる素材や色彩を用いて単調な外観とならないよう工夫します。
- ・雪庇等による雪害及び外壁保護のため、無落雪屋根、雪庇防止材を計画します。

（７）断面計画

- ・天井ふところは余裕のある高さとし、適切な階高設定を行います。
- ・南側普通教室には庇を設け、日射を抑制します。
- ・アリーナは、天井にボールがぶつからない高さとして、3 層吹抜とします。
- ・日影や電波障害など、周囲環境に影響の少ない建物高さを計画します。

（８）色彩計画

- ・計画地は青森市景観計画の建築物等色彩奨励図による「市街地で街並みや人工物どうしとの調和ゾーン」に位置しており、色彩計画は同図の色彩に基づくものとします。
- ・近隣の泉川保育園や西中学校の外観との調和を考慮し、暖色系のベージュ系・茶系の配色とすることで落ち着きや親しみのある計画とします。
- ・教室やワークスペースは、児童の掲示物や作品など、多くの色調のものが置かれることが考えられるため、それらを邪魔しない色彩計画とし、温かみのある木質などをベースとした落ち着いた色彩計画とします。
- ・サインは、誰もが分かりやすく見えやすい色、大きさとしします。

（９）内装計画

- ・内装は、全体的にコストを抑え、メンテナンス性やシックハウス対策に配慮し、各室の用途に応じた材料を選定するとともに、素材の温かみを感じられ、また、調湿作用により良好な環境に保たれるよう、適宜、木質系仕上げを選定します。
- ・家具やサインと統一した内装計画とします。
- ・普通教室は、フローリング等を用い、木質系の内装仕上げとします。
- ・音楽室は、室内外からの遮音性、理科室は、薬品等に対する耐久性を確保できる床材や壁材を選定します。
- ・職員室や視聴覚室は、可変性が求められるため OA フロアを採用します。
- ・トイレは、清潔感のある空間となるよう明るい色調とし、床や壁は掃除をしやすい乾式の内装仕上げ材を採用します。
- ・屋内運動場の内装は、十分な強度と適度な弾力性をもち、十分な耐久性がある材質のものを選定するとともに、やわらかい落ち着いた空間となるよう、適宜、木質系仕上げを選定します。

（１０）防災計画

① 避難計画

- ・明確な動線計画、視認性の良い平面計画、隣接した避難場所（グラウンド・駐車場）を確保することで安全安心な 2 方向避難動線とします。
- ・3 階ワークスペースには避難器具（救助袋）を設置します。

② 防火計画

- ・鉄筋コンクリート造の耐火建築物とし、防火区画、防火壁等を適切に配置し、火災により煙や炎が拡がらないよう、安全な学校とします。

③ 洪水浸水避難計画

- ・本敷地は洪水浸水想定区域に位置しており、校舎部分は地盤面から 1 階床面までの高さは約 1.0mとし、校舎部分への浸水を防ぎます。また、避難所となりうるアリーナ部分は 2 階に設置し、避難所機能の保持に努めます。
- ・PH 階に電気室と機械室を計画します。

（１１）外構・植栽計画

- ・既存南側正門はそのまま活用し、昇降口付近の送迎用駐車場には車いす駐車場として 2 台分を確保します。
- ・敷地東側に、スクールバス・教職員及び来客用駐車場、サービス車両のための新たなアプローチをつくり、南側正門の昇降口へのアプローチと動線を分離します。
- ・来客用・職員駐車場は敷地東側に 60 台程度整備し、スクールバスが転回できるような配置とします。また、当該駐車場から昇降口までの敷地内通路は広く確保します。
- ・グラウンドは周辺住宅地への飛散が少ないクレイ舗装を選定します。
- ・敷地周囲、建物周囲には排水設備を適切に整備します。
- ・既存の樹木は、老朽化したもの、工事の支障となりそうなものは伐採します。

①から撮影した写真



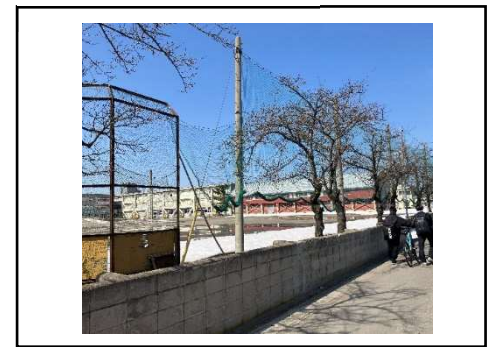
②から撮影した写真



③から撮影した写真



④から撮影した写真



⑫から撮影した写真



⑪から撮影した写真



⑩から撮影した写真



⑨から撮影した写真



⑧から撮影した写真



⑦から撮影した写真

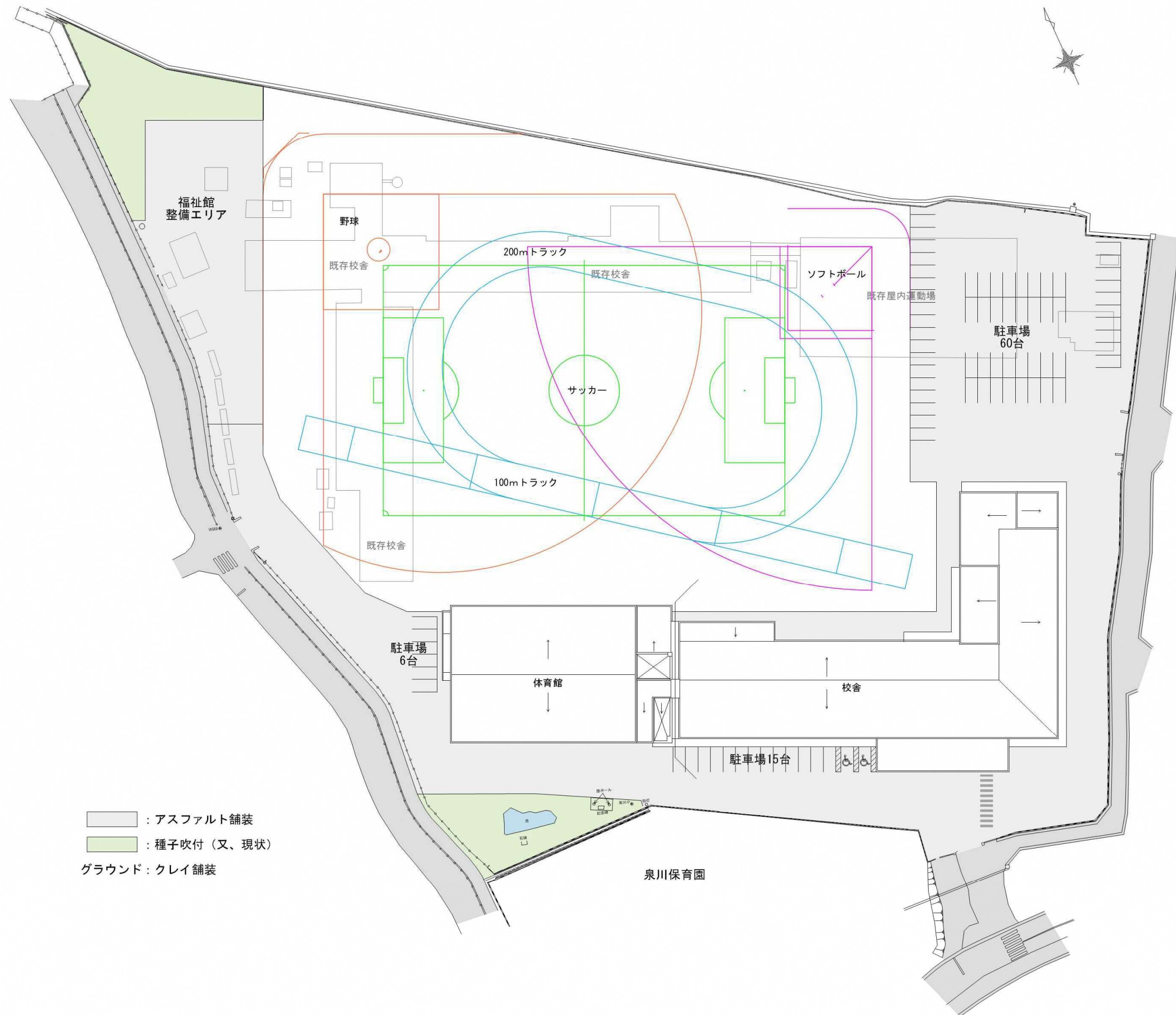


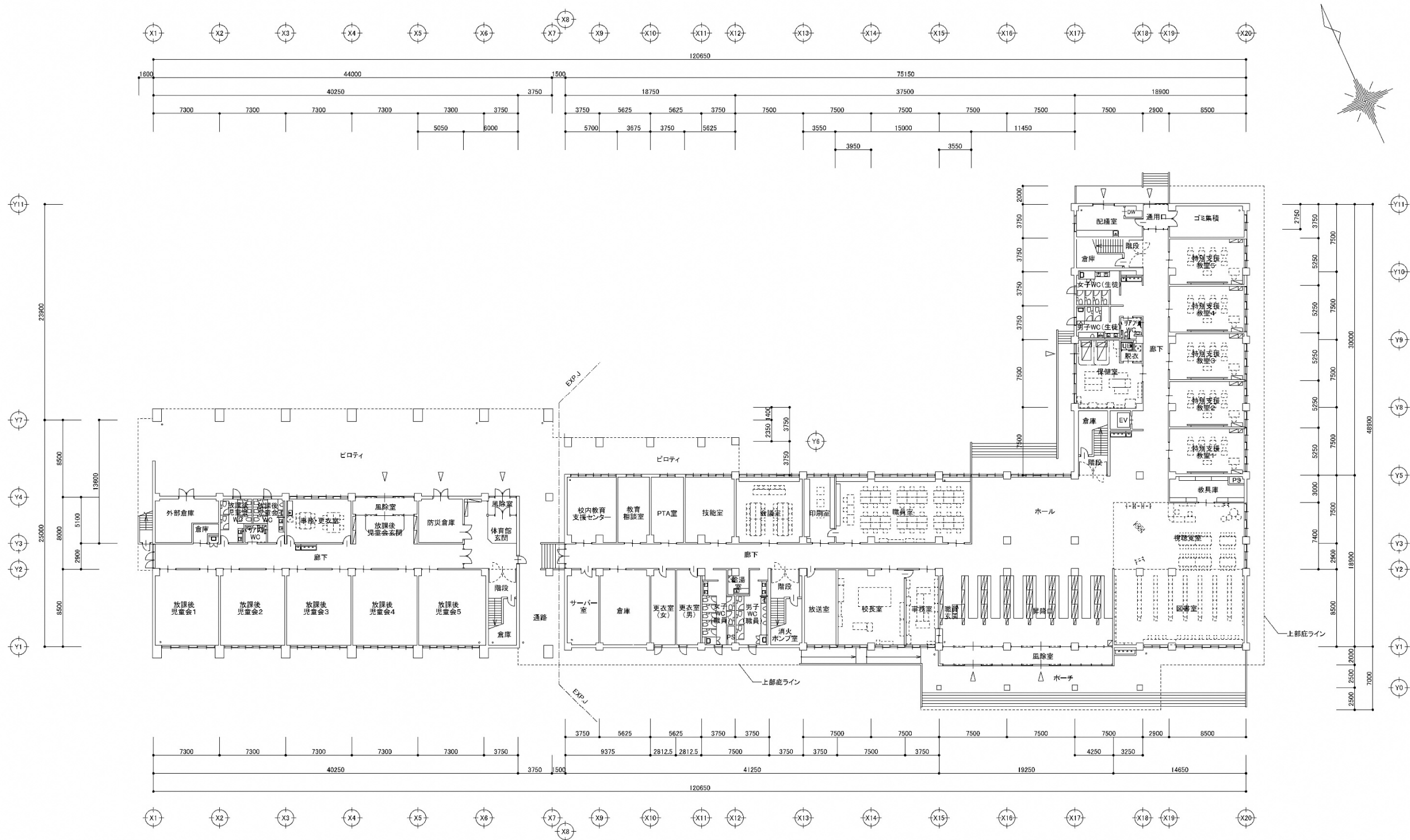
⑤から撮影した写真



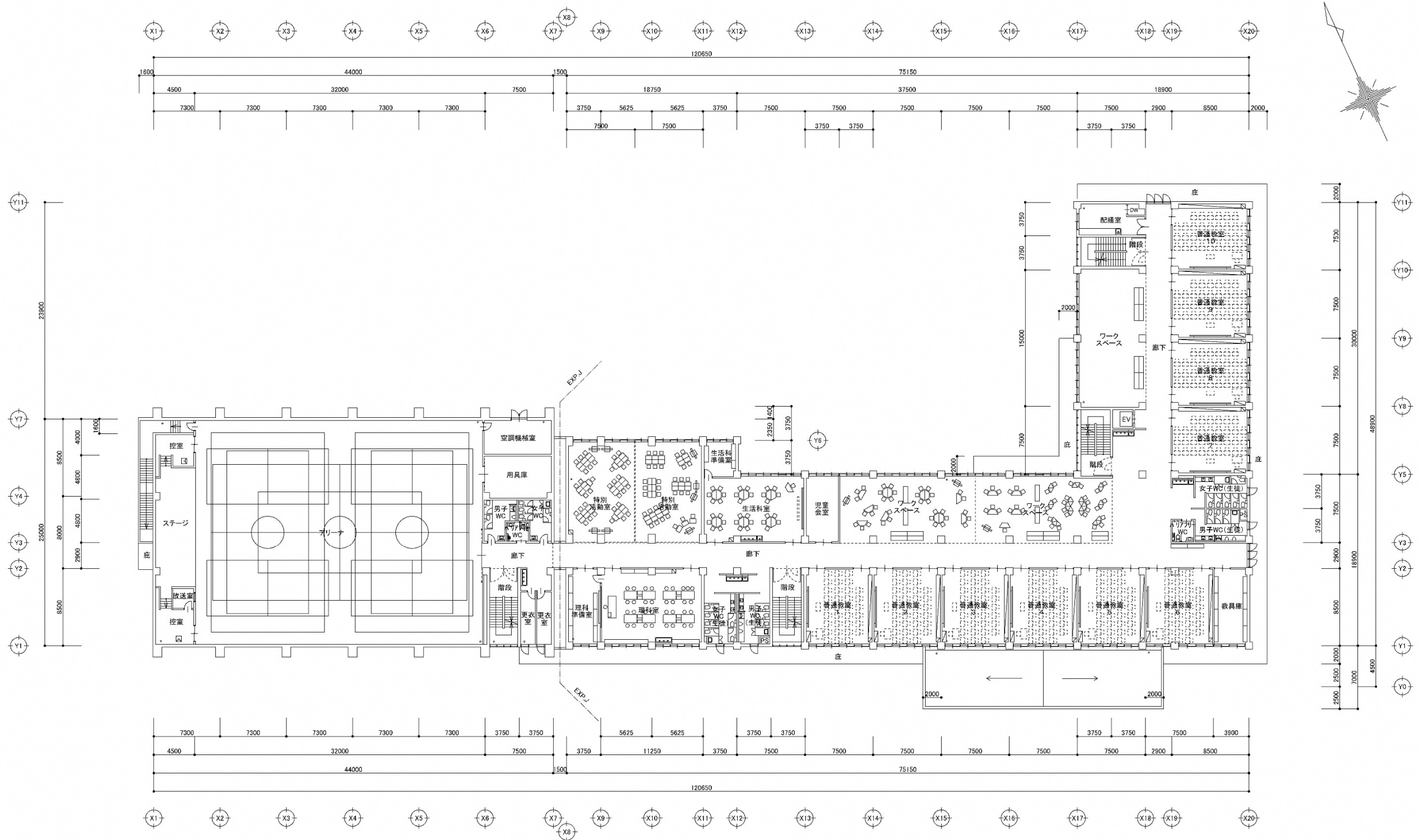
⑥から撮影した写真



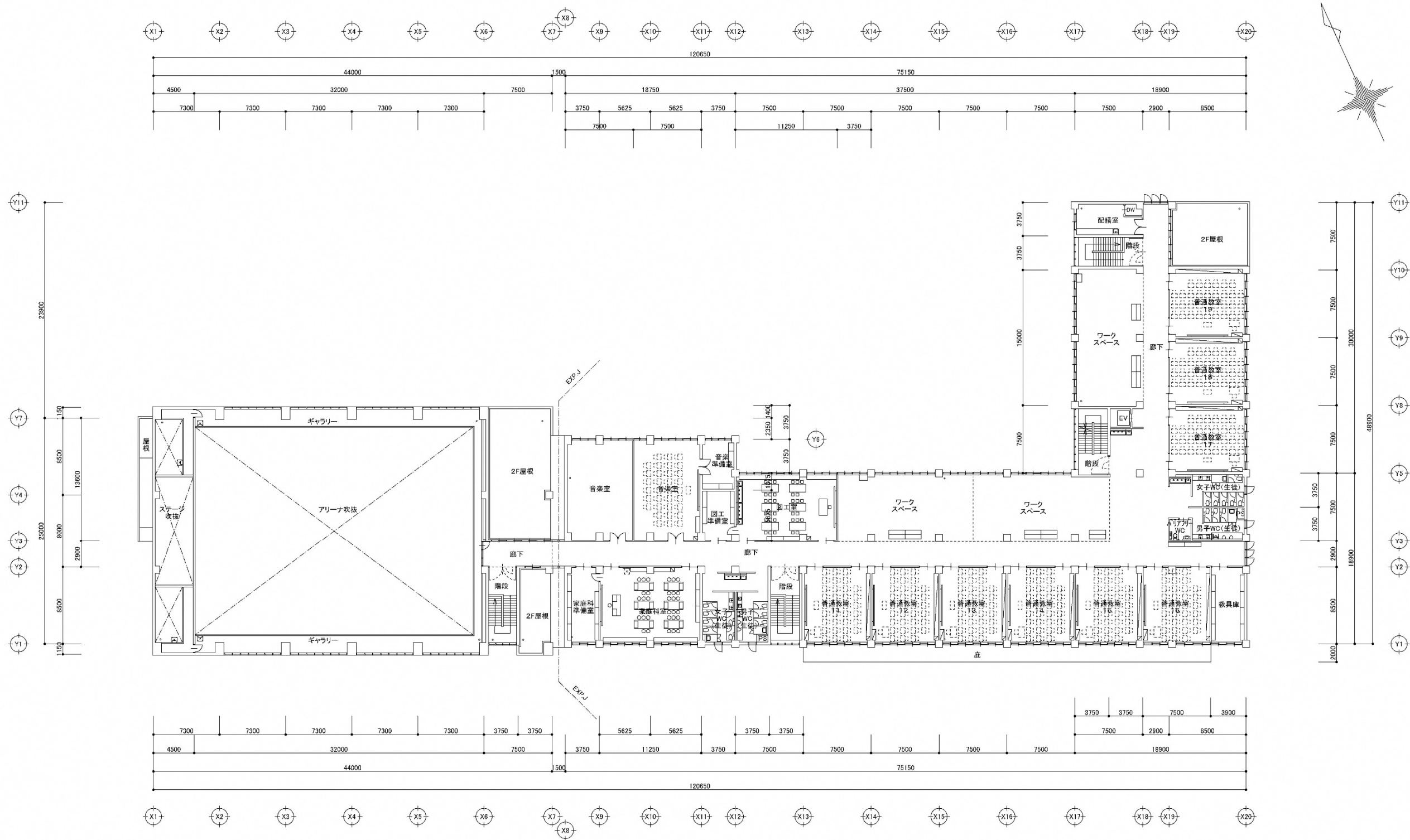




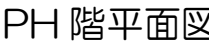
1階平面図

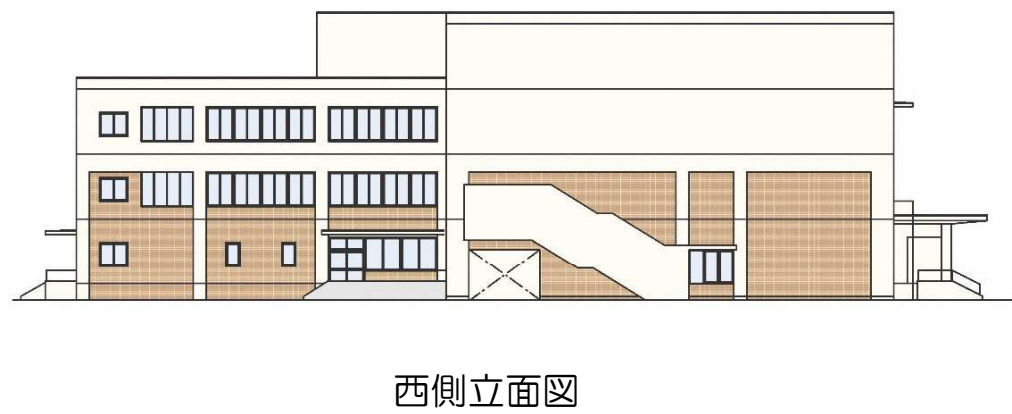
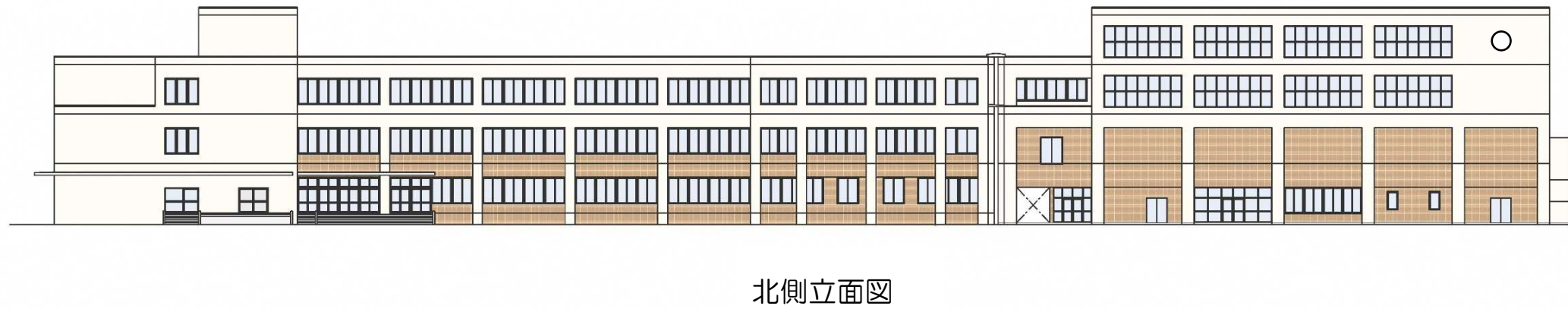
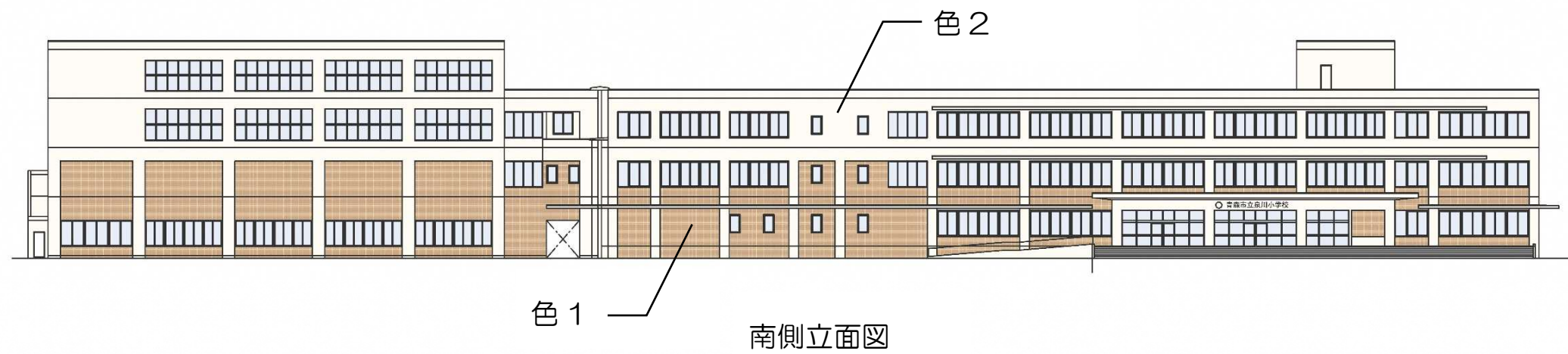


2階平面図



3階平面図





色 1：茶系タイル 10YR7/3 程度
色 2：淡いベージュ系 1.25Y9/1 程度



正面（南側）外観 イメージパース